

船内外機の発航前検査（エンジン編）

機関室の換気

1



Checkpoint

機関室内には、**可燃性ガスが充満している可能性**があるので、しばらく扉を開放して、しっかりと換気を行いましょう。

ビルジの点検

2



Checkpoint

前回の入港時に比べてビルジが増えていないかを確認しましょう。

バッテリーの点検

3

Checkpoint

バッテリー本体の**取付状況**や**液量**、**ターミナルの締付け**を確認しましょう。

メンテナンスフリーのバッテリーにあつては、点検窓でバッテリーの状態を確認しましょう。



メインスイッチの点検

4



Checkpoint

メインスイッチがしっかり「ON」になっていることを確認しましょう。

機関の取付の点検

5



Checkpoint

据え付けボルトが緩んでいないかを確認し、**確実に取り付けられているか**を確認しましょう。

Vベルトの点検

6



Checkpoint

主に表面や側面に**摩耗、ひび割れ、擦り切れがないか**を確認しましょう。また中間部分を押ししてみて、**張り具合**を点検しましょう。

燃料油量の点検

7



Checkpoint

航海に必要な燃料が十分に搭載されているかを確認しましょう。また、燃料タンクから燃料の量を点検できる場合は、計器だけではなく、燃料タンクでも確認しましょう。

燃料コック「開」の点検

8



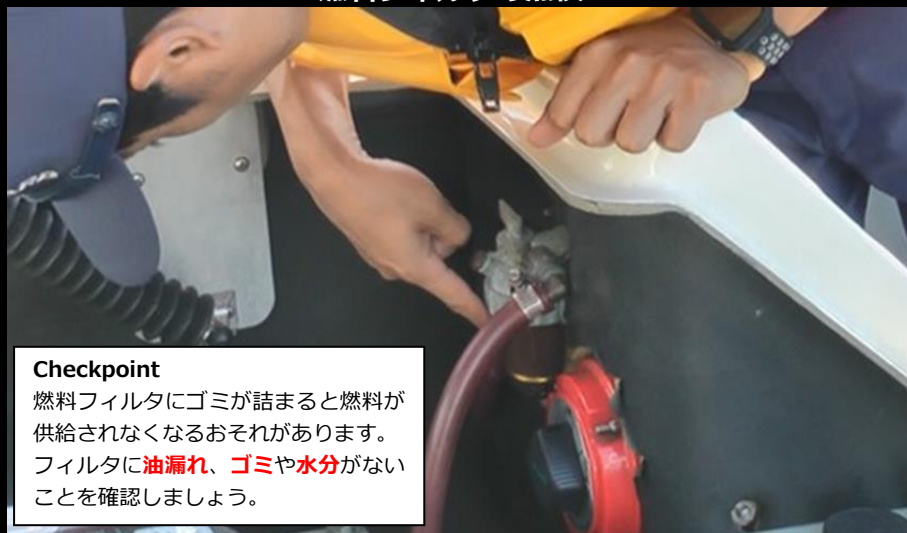
燃料コック「閉」の状態

Checkpoint

燃料コックが「開」になっているかを確認しましょう。

燃料フィルタの点検

9



Checkpoint

燃料フィルタにゴミが詰まると燃料が供給されなくなるおそれがあります。フィルタに**油漏れ**、**ゴミ**や**水分**がないことを確認しましょう。

燃料ラインの点検

10



Checkpoint

配管等から**燃料漏れ**がないことを確認しましょう。

エンジンオイルの点検

11



Checkpoint

量、色、粘度、臭いを確認しましょう。オイルが劣化すると焼き付きや破損につながるので定期的に交換しましょう。

電装品の点検

12



Checkpoint

接続端子の緩み、電気配線の**腐食**や**損傷**がないことを確認しましょう。

冷却水の点検

13



Checkpoint

冷却清水の量がしっかり規定量となっているかを確認しましょう。また、リザーブタンクがあるものは、水位が上限と下限の間にあることを確認しましょう。

パワーステアリングオイルの点検

14



Checkpoint

レベルゲージを取り外し、ウエスで拭き取りましょう。その後取付けた後、再度取り外して、適量であるかを確認しましょう。

パワートリムポンプオイルの点検

15



Checkpoint

オイルの量が上限と下限の間にあることを確認しましょう。

ギアオイルの点検

16



Checkpoint

オイルの量が上限と下限の間にあることを確認しましょう。

撮影協力：日本海洋レジャー安全・振興協会